

# 土砂防 だより



秋景（富士宮市北山）

静岡県の9月補正予算	2
平成16年度土砂災害の発生状況と対策	3
市町村長等砂防事業県外視察	4
平成15年度 砂防関係事業の代表的な完成箇所 第2弾	6
土砂災害防止法	7
シリーズミニ講座②「基礎調査」について	
インフォメーション	8
石碑を訪ねて	11
募集・お知らせ	12



## 平成16年度 土砂災害の発生状況と対策



## 市町村長等による砂防視察研修 新潟県砂防事業現地視察



## 県の9月補正予算

# 県単独事業(生活環境整備事業)に2億円!

県の平成16年度9月補正予算が発表されました。

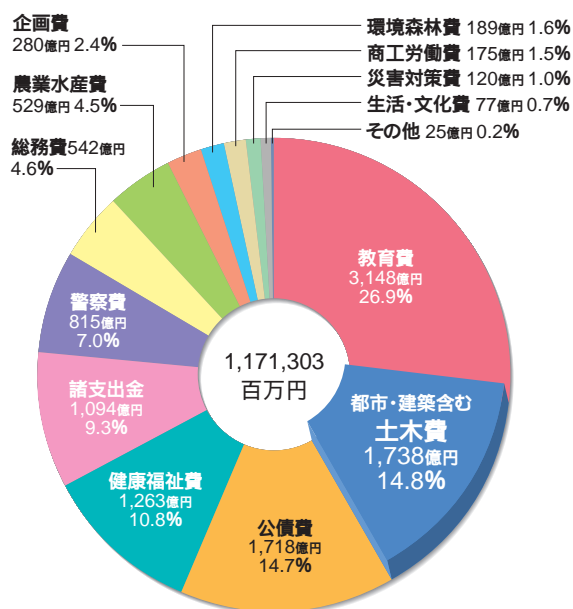
一般会計の補正規模は、73億300万円と昨年度の154億6,800万円に比べ81億円余り少なくなりました。砂防関係予算は、4億400万円の増額補正があり、9月現計で112億4,345万円余となりました。

補正の内訳は国庫補助事業で2億400万円(当初予算の追加申請分)、県単独事業で2億円(生活環境整備事業)です。県単独事業においては、6～7月の台風6号等の豪雨、土砂災害への対応が必要な箇所を重点とし、砂防、地すべり対策、急傾斜地崩壊対策事業に配分しました。

(単位:千円)

区 分	平成16年度 予算			H15最終予算 (B)	A / B (%)
	当初予算	9月補正額	合 計 (A)		
行 政 費	19,457	-	19,457	17,457	111.5
国庫補助事業	7,741,000	204,000	7,945,000	8,771,703	90.6
県単独事業	1,675,000	200,000	1,875,000	1,902,000	98.6
国直轄事業負担金	1,404,000	-	1,404,000	1,473,372	95.3
合 計	10,839,457	404,000	11,243,457	12,164,532	92.4

県歳出予算構成比(一般会計)



土木部科目別内訳

(単位:千円)

区 分	平成16年度		
	当初予算	9月補正	9月現計
土木管理費	7,546,352		7,546,352
道路橋りょう費	84,551,004	2,990,000	87,541,004
河川海岸費	28,018,494	408,000	28,426,494
砂防費	10,839,457	404,000	11,243,457
港湾費	8,354,491	- 86,000	8,268,491
土木費計	139,309,798	3,716,000	143,025,798
災害復旧費	9,549,000		9,549,000
合 計	148,858,798	3,716,000	152,574,798

# 土砂災害の発生状況と対策

土砂災害は、降雨などを原因として突発的に発生し、尊い生命や貴重な財産を一瞬にして奪い、地域に深刻な被害をもたらします。平成16年は9月10日までに全国42都道府県で1,143件（土石流287件、地すべり178件、がけ崩れ678件）の土砂災害が発生しています。

県内でも、6月19～22日の梅雨前線豪雨及び台風6号、6月29～30日の豪雨を中心に21件の土砂災害が発生しましたが、幸いにも人的被害はありませんでした。このうち、急傾斜地崩壊対策事業で施設を設置した2箇所においては、崩壊土砂を受け止め、がけ崩れから人家（人命）への被災を未然に防止し、地域の安全向上に大きく貢献しました。

土砂災害の発生件数

（平成16年9月30日現在）

原因	H12	H13	H14	H15	H16
土石流	4	0	1	4	5
地すべり	1	7	4	8	1
がけ崩れ	16	14	37	53	15
計	21	21	42	65	21

## 6/29～30 静岡豪雨

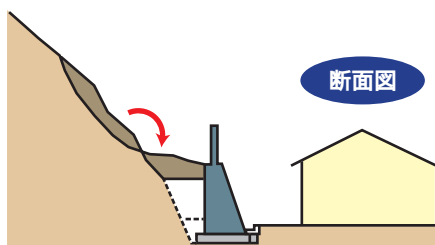
6月29～30日に静岡県中部地方を襲った局地的豪雨は、1時間に81.5mm、日雨量は静岡地方気象台観測史上最大の368mmを記録し、県内各地で土砂災害が発生しました。急傾斜地崩壊対策事業で施設整備を行った2箇所では、人家を襲う土砂を擁壁でくい止め、被害を未然に防止することができました。



岡部町貝立



藤枝市蓮華寺池



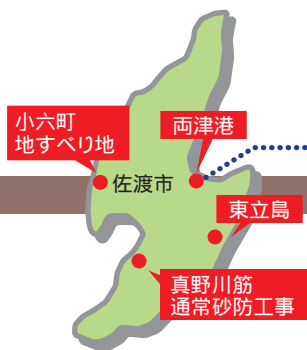
急傾斜施設が  
なかったら...



平成10年8月の土砂災害(函南町山田)

市町村長等会員による砂防視察研修

# 新潟県砂防事業現地視察



砂防協会県支部は、平成16年8月26～28日に新潟県の砂防事業を視察しました。この視察は、新潟県砂防課の協力を得て実施したもので、副支部長の原田袋井市長を団長に31名が参加しました。

また、この視察は、毎年当協会が実施している事業で会員(市町村長)により砂防関係事業先進地を視察し、認識を新たなものにするとともに、生きた教訓により砂防事業の周知・普及を図ろうとするものです。

新潟県佐渡地域振興局等の親切な説明により、有意義な視察となりました。関係各位の皆様にご心より御礼申し上げます。

連日晴天に恵まれ、両津港では、ご多忙中にもかかわらず堀新潟県佐渡地域振興局地域整備部長、佐藤佐渡市建設課長より歓迎のご挨拶をいただきました。また、引き続き佐渡市の現況について説明を受けました。佐渡市は、平成16年3月に1市9町村が合併し佐渡市となったそうです。



堀整備部長の挨拶



## 日程

- 8月26日 新潟駅集合→市内視察
- 8月27日 東立島集落センター  
(佐渡市東立島)  
真野通常砂防事業 (真野町)  
小六町地すべり事業  
(相川町小六)
- 8月28日 新潟駅解散

## 参加市町村等

袋井市(団長)、東伊豆町、伊東市、御殿場市、裾野市、伊豆市、大仁町、小山町、芝川町、静岡市、由比町、富士川町、川根町、菊川町、大東町、浅羽町、天竜市、春野町、佐久間町、水窪町、引佐町、熱海土木事務所、富士土木事務所、島田土木事務所、御前崎土木事務所、袋井土木事務所、浜松土木事務所、砂防室(事務局)

## 東立島地区避難活動事例報告 / 端野靖夫前東立島区長

佐渡市東立島地区は、平成10年8月3～4日にかけて記録的な梅雨前線豪雨に見舞われ、集落の中央を流れる東立島川の増水とともに土石流が発生し、一部損壊家屋7戸の他浸水被害5戸の被害が出ました。また、がけ崩れにより、全壊家屋2戸、一部損壊1戸の被害も発生しましたが、1人の犠牲者も出さずに済みました。

当時、区長であった端野氏から、河川や斜面の異常に気づき、住民に避難を促すとともに、住民が一体となって互いに情報を提供しあい、助け合いながら避難活動を行った当時の様子や、その後の避難生活の苦労についてのお話を頂きました。

その後、東立島地区では地域防災学習マップも作成され、地域防災学習も行われています。端野前区長の熱い語り、参加者の皆さんは熱心に聞き入っておられました。



端野前区長による講演(東立島集落センター)



東立島地区土石流災害状況(平成10年8月4日)

## 真野川通常砂防整備事業

真野川は佐渡市の南西部に位置し、西に向いて開いた真野湾に南東から注ぐ流域面積2.2km<sup>2</sup>の河川で、下流部には合併前の旧真野町役場（現佐渡市真野支所）や真野川の沿川は真野御陵、真野宮など重要な歴史的遺産などがあります。真野町にとって拠点的な地域であります。

これらを守るため、高さ25mの砂防堰堤の建設が行われており、平成18年度完成の予定です。

また、佐渡島は元々水が不足がちなため、農業用水の予備水源としても利用する「水溜ダム」の計画となっています。巨大な堰堤を前に参加者の皆さんは新潟県の担当者へ熱心に質問されていました。



真野川通常砂防工事現場



新潟県担当者に質問する参加者

## 小六地すべり対策事業

小六地すべり地は佐渡市の西側の相川地区にあり、その被災斜面は史跡佐渡金座遺跡佐渡奉行所跡として文化財指定されています。

平成14年7月14～16日の梅雨前線豪雨及び台風7号により、相川町では14日午後10時から15日午後10時までの24時間に242.5mmの記録的な豪雨となり地下水位が上昇、長さ100m、幅約70m、推定深さ15mの地すべりが発生しました。

15日7時に発生した地すべりは、同日22時に大きく移動し、人家1戸が全壊、17日には人家6戸に壁の亀裂などの変状が確認されました。事前に住民が小規模な崩壊と異常な湧水を発見し、現地において役場職員の立会いで小規模な地すべりの発生が確認されましたが、43世帯90人が避難した後であり、幸い人的被害を免れました。

その後、災害関連緊急地すべり対策事業として採択され、工事中は伸縮計5基及び傾斜計3基により監視をしました。



小六地すべり対策事業現場



説明に聞き入る参加者

## 参加者の声

視察団 団長 袋井市長 原田英之  
(全国治水砂防協会 静岡県支部副支部長)

今年度の市町村長等砂防事業県外視察は、新潟県の砂防事業を視察しました。全国的に猛暑に見まわりましたが、新潟県では7月13日には新潟・福島豪雨により河川の氾濫や多数の土砂災害が発生し、行政による防災情報伝達や避難命令決定のタイミングなど多くの課題が取り上げられる等そんな折の視察であったため、身の引き締まる視察となりました。

端野前東立島区長の事例報告、視察した施設を通じて、ハード対策としての防災施設整備の必要性を確信するとともに、ソフト対策の重要性を再認識し、今後の地域づくりに大いに役立てて参りたいと思います。

視察先では、新潟県砂防課をはじめ、新潟県佐渡地域振興局地域整備部、佐渡市建設課の皆様にも多大な御協力と御配慮をいただいたことに厚く御礼申し上げます。

また、終日晴天に恵まれ、団員各位の御協力により全員無事で全日程を終えることが出来ましたことを心より感謝しております。

平成15年度

# 砂防関係事業の代表的な完成箇所

## 砂防事業



だいばがわ  
大場川右支川砂防堰堤

事業名 / 火山砂防事業  
箇所 / 裾野市市の瀬地先  
期間 / 平成13～15年  
事業費 / 180百万円  
概要 / コンクリート砂防堰堤H=14.5m、L=59.0m  
事業効果 / 土石流による災害を防ぐため、砂防堰堤工を施工し、人家260戸の安全が図られた。



ふかさわがわ  
深沢川砂防堰堤

事業名 / 火山砂防事業  
箇所 / 田方郡葦山町多田地先  
期間 / 平成11～15年  
事業費 / 307百万円  
概要 / コンクリート砂防堰堤H=14.5m、L=59.0m  
事業効果 / 土石流による災害を防ぐため、砂防堰堤を施工し、人家14戸の安全が図られた。

## 地すべり対策事業



なかのごう  
中之郷

事業名 / 県単自然災害防止（地すべり）事業  
箇所 / 庵原郡富士川町中之郷地内  
期間 / 昭和62～平成15年  
事業費 / 452百万円  
概要 / 吹付法枠工A=3,040㎡、  
アンカー工N=138本、杭工N=20本  
事業効果 / 地すべりによる災害を防ぐため、対策工事を施工し、人家90戸及び県道富士由比線の安全が図られた。



かちのお  
神尾

事業名 / 災害関連緊急地すべり対策事業  
箇所 / 榛原郡金谷町神尾地内  
期間 / 平成15年  
事業費 / 897百万円  
概要 / 横ポーリング工L=26本、  
排土工V=17,300㎡、吹付法枠工A=5,445㎡、  
アンカー工N=250本  
事業効果 / 平成15年8月の豪雨により地すべりが発生したため、早急な対策工事を実施し、国道473号、大井川鉄道の安全が図られた。

## 急傾斜地崩壊対策事業

おおわだ  
大和田

事業名 / 災害関連緊急急傾斜地崩壊対策事業

箇所 / 静岡市大和田地内

期間 / 平成15年

事業費 / 29.8百万円

概要 / 重力式擁壁工 L=15m  
吹付法砕工 A=689㎡

事業効果 / 平成15年7月の豪雨によりがけ崩れが発生したため、早急な対策工事を実施し、人家5戸の安全が図られた。

うぐすおおくほ  
宇久須大久保

事業名 / 災害関連緊急急傾斜地崩壊対策事業

箇所 / 賀茂郡賀茂村宇久須地内

期間 / 平成15年

事業費 / 45.4百万円

概要 / 重力式擁壁工 L=44m  
吹付法砕工 A=486㎡

事業効果 / 平成15年4月の豪雨によりがけ崩れが発生したため、対策工事を施工し、人家5戸や村道西山線の安全が図られた。

## 【シリーズ】土砂災害防止法・ミニ講座VOL.2

## 「基礎調査」について



「基礎調査」とは、土砂災害防止法第4条により、がけ崩れ等のおそれのある土地において、土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域の指定等のため、都道府県が行うこととされているものです。

基礎調査で行う内容は、以下のようなものです。

地形、地質、降雨、植生等の状況  
土砂災害防止施設等の設置状況

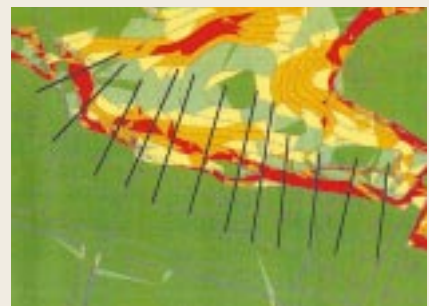
土地の利用状況  
過去の土砂災害に関する調査

地形等の調査は、航空測量結果等により箇所を図化し、現地確認を行うことにより実施します。

現地調査では、宅地等への立入りが必要になる場合があります。立入り調査が必要な場合は、あらかじめ、地域のみなさまにお知らせしますので、ご協力をお願いします。

基礎調査のための立入りの際には、県で発行する「身分証明書」を携帯することになっています。ご不審の場合は、身分証明書の提示や調査の理由等について、お気軽にお尋ねください。

また、基礎調査に関するご意見・お問い合わせは、所管する県土木事務所または県庁砂防室までお寄せください。



航空測量結果による地形調査の例

## 「<sup>かもお</sup>神尾」地すべり対策事業斜面对策工事完成式を開催

8月9日に、昨年8月の豪雨により大規模な地すべり災害が発生した榛原郡金谷町「神尾」地区の地すべり対策事業斜面对策工事の完成式典が、金谷町夢づくり会館で開催されました。

同災害では幸い人的被害はありませんでしたが、地すべりによる崩壊土砂は直下の大井川鉄道の線路敷を覆い(一部不通期間214日)、一部土砂は大井川まで流入し、また、斜面上部を通る国道473号に対しても被害が危惧されたことから、災害関連緊急地すべり対策事業(国庫補助)の採択を受け、緊急に対策工事に着手し、災害発生からわずか1年という短期間で斜面对策工事が完了しました。

式典には、牧野県議、大石県議、伊藤県議、国土交通省河川局砂防部近藤砂防部長、櫻井静岡県土木部長、榛北4町長等の関係者や地権者ら約70名が出席し、斜面对策工事の完成を祝いました。アトラクションでは、金谷大井川川越し太鼓保存会の「祝太鼓」で完成式典に華を添えました。



近藤砂防部長の祝辞

### 災害関連緊急地すべり対策事業の概要

事業費 / 897百万円(国補助率2/3) 事業内容 / 排土工、法枠工、アンカー工、横ポーリング工、水路工  
被災原因 / H15.8.14～16の豪雨(連続雨量418mm、時間最大26mm) 事業主体 / 静岡県島田土木事務所 工事第1課

## 県事業評価監視委員会で砂防関係事業の事後評価を実施

6月14日から8月26日にかけて、県事業評価監視委員会(学識経験者等9名で構成)が3回開催され、土木部、都市住宅部、農業水産部及び環境森林部が所管する、継続中の事業を対象にした再評価(28件)と事業完了後に行う事後評価(19件)の事業評価が実施され、砂防事業に関しては事後評価で2件審議されました。事後評価は、事業の効果、環境への影響、改善措置の必要性等を視点として、平成16年度から本格的に実施しています。県は委員会の意見を踏まえ、事後評価全事業で「改善措置の必要性は認められない」との方針を決定しました。

【砂防事業事後評価箇所】「桃沢川」砂防(長泉町)：全体事業費1,156百万円、事業期間S63～H12  
「中羽根」地すべり(春野町)：全体事業費3,142百万円、事業期間S44～H12

## 2004火山砂防フォーラムが開催される 来年度の「富士宮市開催」が決定!!



フォーラムの様子

9月30日～10月1日に、「2004火山砂防フォーラム～火山を知り、火山と共に生きる～」が西根町総合運動公園体育館(岩手県)で開催されました。このフォーラムは、全国の火山防災担当者などが、年に一度火山砂防事業を含む火山噴火対策に関する情報・意見の交換を行うもので、今回で14回を数えます。

9月30日のフォーラムでは、火山フォーラム委員会委員長の工藤西根町長の主催者挨拶、近藤国土交通省砂防部長、馬場東北地方整備局長、増田岩手県知事の挨拶のあと、「岩手山周辺の小学生が協力してつくりました!新しい岩手山の見どころマップ」の発表、「火山地域における連携～その成果と課題」をテーマとした座談会がありました。

10月1日は、岩手山の北側と南側に分かれ、岩手山周辺の現地見学会が行われる予定でしたが、台風21号の大雨により急遽中止となりました。

岩手山は平成10年(1998)に火山活動が活発化し、全国でも例を見ない「産・学・官が連携した火山防災ネットワーク」を組織し、火山活動の活発化に備えております。

頻度の低い災害(火山)に対し、静かな時に何をしておくか、地域の防災教育の啓蒙が最重要で、そのために、人材の確保、連携など人のネットワークが最も大切であると感じました。

なお、同時に開催された火山砂防フォーラム委員会で、富士宮市が開催地に立候補し、委員会です承され、来年度の「富士宮市開催」が決定しました。今後、火山フォーラム委員会を中心とした開催に向けた活動が始まると思いますので、成功に向け関係者の皆様の協力をお願いします。



## 由比直轄地すべり・ボーリングコア観察会開催される

9月6・7日の両日、由比町役場会議室で「由比地すべり対策検討委員会」ボーリングコア観察会が開催されました。今年度から国が直轄地すべり対策調査(国土交通省富士砂防事務所)に着手しており、同委員会是由比地区の地すべり対策の基本的な方針と地すべり機構等について検討するために観察会を行った。委員のうち、学識経験者6名が会場に並べられたボーリングコアに直接手で触れ、観測データ等と照合しながら推定地すべり面や緩みゾーンを総合的に判断しました。なお、この結果は、第2回由比地すべり対策検討委員会(10月22日)に反映していくことになっております。



ボーリングコア調査



意見交換会の様子

## 地震と土砂災害フォーラム開催される



フォーラム会場の様子

9月8日に、国土交通省中部地方整備局の主催により、名古屋市の愛知県芸術劇場大ホールで「地震と土砂災害」フォーラムが開催されました。

フォーラムは、作家の藤本義一氏の特別講演「災害時の人間観察」、(株)インターリスク研究所の三島和子氏の基調講演「今、何をすべきか? ~リスクマネジメントから考える地震対策」の後、伊藤和明氏(元NHK解説委員)、安藤正孝氏(名古屋大学教授)、青木奈緒氏(作家)、高田真由子氏(女優)、土屋智氏(静岡大学教授)、亀江幸二氏(国土交通省砂防計画課長)の6名により、土砂災害に対するボランティア活動などについて議論が交わされました。

平日にも関わらず会場には多くの聴講者が集まり、様々な分野を代表する講演者の興味深い話に熱心に聞き入っていました。

## 兵庫県治水砂防協会が県内砂防施設を視察

10月7～8日に、兵庫県治水砂防協会の県外砂防事業研修が、本県で行われました。一行は兵庫県砂防協会の会員及び県職員の総勢28名で初日は国土交通省静岡河川事務所の大谷崩れを視察されました。

8日は、午前中に指定文化財である兜堰堤のある木和田川砂防環境整備事業の視察と、土砂災害防止法の県内初指定となった静岡市大和田で、指定の経緯を説明しました。午後は浜松市の上島白華寺のふれあいの斜面を視察されました。

今回の、視察の主な目的は土砂災害防止法の指定地の現場視察ということで、現場を見ながら地元説明会でのやりとりや苦労話、市の係わりについて説明すると、参加者の皆さんは熱心に聞き入っておられました。今後始まるであろう兵庫県での土砂災害防止法の区域指定の参考になれば幸いです。



県内初の指定になった大和田地区(静岡市)



## 台湾「日本の砂防と自然工法」調査団が本県を視察



本橋熱海土木事務所技監による説明

9月13日に、台湾の「日本の砂防と自然工法」調査団が、県内の砂防事業等の視察に訪れました。

この視察は、(社)全国治水砂防協会が国際交流の一環として行っている台湾との砂防技術交流で、台湾行政院農業委員会水土保持局、工業技術院能源興資源研究所等の砂防や地すべりの専門技術者12名が7日間の予定で来日されました。

視察団は、木和田川兎堰堤(岡部町)、西倉沢地すべり(由比町)、小谷野沢災害関連緊急砂防(函南町)、国道135号道路の法面の地すべり災害復旧(熱海市)などの現場を視察されました。その後、熱海土木事務所を訪問し、武田所長より熱海地区の状況等について説明を受けました。現地調査の様子は伊豆毎日新聞、熱海新聞にも掲載されました。

視察団の皆さんは、日本語を勉強されている方も多数あり、現場で熱心に質問され、また、静岡県担当者と活発な意見交換が行われました。

## お知らせ

## 『土砂災害防止に関する講習会』を開催しています

県砂防室では、土木事務所や市町村と連携し、平成11年度より自主防災組織等を対象に『土砂災害防止に関する講習会』を行っています。

平成11年度から始まったこの取組みも、昨年度までに31市町村で延べ3,726人が参加するほどの行事となりました。今年度も9月までに11市町村で開催しました。

講習は、土砂災害に関して視覚的に説明するために県が作成したCD-ROM、プレゼンテーションソフトを使った資料、副読本や各種チラシを用いて、講習対象の市町村の事例を盛り込み、地域に密着した内容で行っています。

土砂災害から命を守るには、住民一人一人の防災意識の向上が欠かせません。そのため、県では今後も積極的に土砂災害に関する講習会を開催し、土砂災害に関する知識、警戒避難の必要性等の普及に努めていきます。

開催希望のある市町村は、土木事務所または砂防室にお問い合わせください。

### 問い合わせ先

静岡県土木部河川砂防総室砂防室 土砂災害対策スタッフ

〒420-8601 静岡市追手町9-6 TEL 054-221-3042 FAX 054-221-3564

e-mail sabo@pref.shizuoka.lg.jp



講演会の様子(三島市)



- 平成16年 7月 15日 第2回富士山土砂災害対策連絡会(富士宮市)  
28日 火山地域における観光地安全対策調査検討委員会(東京都)
- 8月 3日 富士川総合土砂管理会議(山梨県)
- 9月 1~3日 地すべり学会(秋田県)  
9日 全国砂防主管課長会議、全国治水砂防協会参与会(東京都)  
13日 中部地方整備局管内臨時課長会議(名古屋市)

# 石碑

## をたずねて

vol.2

今回は、金原明善翁の像です。  
天竜川は昔「暴れ天竜」として多くの人から恐れられていました。幼い頃から洪水の恐ろしさを身をもって知っていた金原明善は自己の資産をなげうって、天竜川の水防工事を行いました。



天竜川奥地の大美林と天竜川護岸、そして浜名、磐田両用水による豊かな遠州の大穀倉地帯など、今日に見るこれらの景観は翁および翁の意思によって設立された金原治山治水財団の功績によるものであります。



明善翁の遺徳を顕彰すると共にその遺風を後世に継承するため、明善翁に対する謝恩記念事業として胸像が建立された



### 【交通機関】

遠州鉄道「西鹿島」駅から徒歩15分  
天竜浜名湖鉄道「西鹿島」駅から徒歩15分

### 金原明善記念館

金原明善は天保3年(1832年)今の浜松市で生まれました。大地主だった明善の家は、今でも浜松市安間町に残っています。生家の前に、明善記念館があり、翁の遺品、関係資料が展示されています。

【場 所】 浜松市安間町35  
【料 金】 無料  
【休 館 日】 月曜、祝日  
【問合せ先】 (財)金原山治水財団 TEL053(421)0550

- 名 称 …… 金原明善の胸像
- 所 在 地 …… 天竜市二俣町鹿島1 - 49
- 建立年月日 …… 昭和59年2月24日
- 建 立 者 …… 金原用排水組合
- 河 川 名 …… 一級河川天竜川水系天竜川



金原明善の顔絵

明善翁は、江戸時代の末期から明治時代にかけて、私たちの郷土、遠州の発展の基礎を築きました。翁は、天保3年(1832年)に天竜川下流の浜松市安間町で生まれ、幼いころから度重なる天竜川の洪水による惨禍を身を持って体験しました。

明治元年37歳の時、京都に上り政府に天竜川の堤防を改修する必要性を説き認められ、翌年には水防工事一切をまかされることとなりました。明治4年、川幅を定め、乱流を調整するために堤防改修の必要性があると、堤防の位置の決定を行いました。これが堤防改修のはじめだといわれています。明治19年明善55歳の時、洪水を防ぐ対策として川の上流の植林に着手し、これが天竜大美林と呼ばれる日本有数の山になったのです。

翁は、天竜川水系の治山治水と開発こそ遠州の人達の幸せを高めるための唯一の道であると確信し、自分の資産をすべて投げ、寝食を忘れて大事業を実行しました。1923年大きな業績を残し、91歳の生涯を閉じました。明善をまつる明善神社(佐久間町)や、学術参考林(龍山村)が今なお残っており、また明善の仕事を称えて、明善記念館(浜松市)や生家が一般に公開されています。

# 案内コーナー

## 安倍川SABOウオーク 参加者募集

静岡河川工事事務所では、11月7日(日)に安倍川上流で行っている砂防事業等について県民の皆さんに理解と関心を深めていただくために、「安倍川SABOウオーク」を実施します。

定員40名程度、応募多数の場合は抽選とさせていただきます。

集合場所 / 県庁前

参加費用 / 大人100円 子供50円(保険代に充当)

見学場所 / 大谷崩れ、砂防施設など

申込先 / 国土交通省静岡河川事務所 内

安倍川SABOウオーク実行委員会

〒420-0068 静岡市田町3-108

TEL054(273)9104

申込方法 / 往復はがきに住所・氏名・年齢・電話番号を明記して10月31日までに上記までお申込み下さい。

## 2005砂防カレンダー 現場周辺の山・谷・川の写真コンテスト

テーマ / 砂防関係工事(砂防堰堤工事、地すべり、がけ崩れ対策工事など)現場や現場周辺の山、溪流、花、動物などを題材としたもの。

応募資格 / 制限はありません

サイズ / カラー写真で四切りサイズ(四切りワイド含む)

締め切り / 夏の写真 平成16年 9月30日(受付終了)

秋の写真 平成16年12月26日

冬の写真 平成17年 3月31日

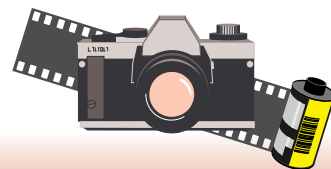
春の写真 平成17年 6月30日

問合せ先 / NPO法人 砂防広報センター

〒105-0004 東京都港区新橋6-13-1

TEL03(3459)1591

<http://www.sabopc.or.jp/>



## 土砂災害防止に関する 絵画・作文・ポスターの応募御礼

6月1日～9月15日の間、県内の小中学生の皆さんに土砂災害及びその防止についての理解と関心を深めていただくため、作品を募集したところ、多数の応募をいただきました。誠にありがとうございました。

なお、入選発表及び表彰式は平成17年3月を予定しております。

### 【応募状況】

部門	小学校	中学校	合計
絵画	15	15	30
ポスター	50	65	115
作文	5	6	11
合計	70	86	156



- 10月 12日 治山砂防議員連盟現場視察(富士宮市)  
27日 第2回東海4県土砂災害防止法担当者会議(静岡県庁)
- 11月 24～25日 市町村等砂防担当職員研修(岐阜県)  
30日(社)全国治水砂防協会参与会(東京都)

### 【表紙写真】



秋景 富士宮市北山  
山本 勝利さん(静岡市)

砂防協会では表紙に掲載する静岡県内の写真を募集しています。皆様のご協力をお願い申し上げます。詳しくは、下記まで問合せ下さい。

## 編・集・後・記

8月26～28日の新潟県砂防事業視察に参加しました。佐渡市の端野前東立島区長より平成10年8月の豪雨災害の際の避難活動やその後の避難生活のお話は、普段新聞テレビ等で見聞きするより生々しく、心に残るものとなりました。この視察で得た貴重な教訓が、静岡県砂防事業の推進に役立てていきたいと思っております。

また今年は台風をはじめ様々な災害が日本列島を襲い、尊い人命や財産が奪われました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

砂防だよりが砂防室ホームページでも見られるようになりました。砂防室HPアドレス：<http://doboku.pref.shizuoka.jp/sabou/index.html>